目指す学校像		ア 豊かな人間性・社会性を身につけさせ、社会の変化に適切に対応できる能力を育てる。 イ 商業に関する知識・技術を習得させ、産業経済活動を通して国家・社会に貢献できる資質を養う。		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況	
<p>計画的な小テストや課外授業の実施などにより、自ら積極的に学ぼうとする意欲が増したが、教科にばらつきがあるため、今後も家庭学習の推奨や、各教科における主体的な学習態度の育成を継続的に図る必要がある。</p> <p>求人数は想定していたよりも良好で、卒業までには就職希望者全員が内定を得ることができた。今年度も求人開拓に力を入れるとともに、基本的な生活習慣を確立させ、生徒の進路実現に取り組むとともに、求人情報等の発信を更にする必要がある。</p> <p>日々のきめ細かな指導により、学校内及び登下校時の服装や生活態度が落ち着いてきている。他方校外においてマナーの向上を図る必要がある。また、学校として情報の共有に努め、特にSNS上のトラブルに迅速に対応するなど、生徒の変化を見逃さない体制づくりが求められる。</p> <p>生徒の自発的な活動を促し、委員会活動や年間計画に沿ったLHRの実施などホームルーム活動をより一層充実させる必要がある。部活動活性化のための方策を考察する必要がある。</p>	(1)上級資格取得の推進と基礎学力の向上	①授業時間の確保に努める。 ②授業公開や授業研究に取り組み、常に学習指導の工夫改善(教材研究)に努める。 ③成績不振者に対する適切な指導を行う。 ④授業や家庭学習に自ら取り組む習慣を身につけさせる。 ⑤各教科における計画的な小テストの実施により、自主的な学習態度を培う。 ⑥学習指導要領の趣旨に沿った学習の充実と資格取得指導の徹底を図る。 ⑦ICTを活用した授業を展開する。	A	
	(2)勤労観・職業観の育成とキャリア教育の充実	⑧各学年の進路指導の充実を図り、主体的に進路選択ができる能力の育成に努める。	A	
	(3)自他の理解能力の育成とコミュニケーション能力の向上	⑨規範意識の確立と公共マナーの育成を図る。 ⑩共に学び、助けあう協働の精神を育む。 ⑪挨拶の励行を心がける。	B	
	(4)豊かな人間性と社会性の涵養と特別活動の充実	⑫自発的・自治的な活動等を通して、豊かな人間性と社会性を養う。 ⑬部活動への積極的な参加とその継続を図る。	B	
	(5)健康教育の推進と安全教育の徹底	⑭健康教育(特に感染症対策)の充実と、安全教育の実践に努める。	A	
	(6)家庭及び地域社会との積極的な連携	⑮学校・家庭及び地域社会と密接な連携を図り、理解と協力を得る。	B	
	(7)勤務時間に関する意識向上と時間外勤務の抑制	⑯在校時間管理システムにより、勤務時間を客観的に把握し、時間外勤務の短縮を図る。	B	
三つの方針	具体的目標	評価	次年度(学期)への主な課題	
(三つのスクールのポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	(長期的目標) ①豊かな人間性・社会性を身につけさせ、社会の変化に適切に対応できる能力を育てる。 ②商業に関する知識・技術を習得させ、経済活動を通して国家・社会に貢献できる資質を養う。	B	コロナ禍ということもあり、実社会と関わる形での教育活動が難しいところではあるが、何らかの形で設定していきたい。
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	(中期的目標) ①上級資格取得の推進と基礎学力の向上。 ②勤労観・職業観の育成とキャリア教育の充実。 ③自他の理解能力の育成とコミュニケーション能力の向上。	A	インターンシップが実施できない状況なので補充効果のある行事や指導方法などを検討していく。
	「入学者の受入れに関するポリシー」 (アドミッション・ポリシー)	(短期的目標) ①ビジネス社会に関心を持ち、社会の変化に対応できるように主体的に学習に取り組み、自ら考え行動できる生徒。 ②挨拶やマナー等、高校生としての基本的な生活習慣を身につけ、多くの友人たちとともに明るく活動的な高校生活を送ろうとする生徒。 ③チャレンジ精神を持ち、簿記検定をはじめとする商業に関する各種検定や資格の取得をめざし、自らの進路実現に取り組む生徒。 ④中学校において、学校行事や部活動、生徒会活動に積極的に取り組み、本校入学後も継続して取り組む意思のある生徒。	A	ホームページやハイスクールガイドで、本校の求めている中学生像をPRしていく。
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
教 科	国語 基礎学力の向上を図る。 家庭学習の定着に努める。 活字文化に触れ、読書の喜びを実感できる機会を増やす。 国語がわかる喜びを実感する授業の改善に努める。	・年四回の校内漢字テストや授業での漢字小テストを実施をとおして漢字力を身につけさせ、日本漢字能力検定の合格者を増やす。 ③⑤	A	・年々更新されていくICT教材の活用方法の把握 ・新課程の指導法における情報共有 ・評価規準の見直しにおいて、科目内での評価規準の統一 ・新課程の指導も含め、積極的な資料活用方法の検討 ・教員と生徒双方のICTに関する技能の向上 ・コンピューターやプロジェクターを用いて授業を展開するように努めていきたい。
		・国語辞書を授業の中で活用し、意味調べの作業を通して、言語活動を活発にする。 ④	B	
		・文章を書いたり論理的に話したりする時間を増やし、国語表現力の向上に努める。 ⑥	A	
		・ノートや漢字学習帳などを定期的に点検し、授業や家庭学習に取り組ませる。 ④	A	
	地理歴史・公民 国際社会に主体的に生きる知識を身につける。 生徒が各教科に興味・関心を持ち、積極的かつ意欲的に参加できる授業を実践する。	・単元ごとに演習の時間を設け、プリントや問題集の反復練習をとおして基本事項の定着を図る。 ⑤	A	
		・ICT教材や視聴覚教材、資料集やプリントなど各種の関連教材資料を利用し、授業に変化を持たせ、生徒の興味や関心を高める。 ②	A	
		・新聞などを活用して、社会時事を話題にしながら世の中の事象に関心を持たせる。 ②	B	
		・ノートや夏季休業中の課題を提出させることにより、年間を通して教科に意欲的に取り組む姿勢を持たせる。 ④	B	
	数学 基礎学力の向上を図る。 数学に対する興味・関心を持たせる。 自主的に学習する習慣を身につけさせる。	・定期考査時にノート、問題集、プリントを提出させ、学習進度の理解の確認をする。 ④	A	
		・ICTを効果的に活用し、グラフの変化をわかりやすく説明する。 ⑦	B	
・成績不振者に対して、定期的な課外を実施する。 ③		A		
・サポートを効果的に活用させる。定期的提出させ、家庭学習の成果を確認し、自ら学ぶ習慣を身に付けさせる。 ④		A		
理科 基礎的・基本的な知識を習得させる。 自然に対する関心や探究心を高める。 科学的な思考力・表現力を育成する。	・板書事項を工夫し、見やすいノートを作成させる。 ⑦	A		
	・ノートやプリントを定期的に提出させる。 ④⑤	A		
	・目的意識をもった観察および実験を行うことにより、科学的な見方や考え方を養う。 ④	B		
	・発問を多く取り入れ、自ら考えさせる姿勢を育てる。 ④	A		
保健体育 基礎的な運動能力と体力の向上を図り、運動の楽しさや喜びを味わい、継続的に運動ができる資質や能力を養う。 健康安全に関する理解を深め、生涯を通して自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。	・観察や実験の結果を整理し考察する力を養う。 ⑦⑩	B		
	・集団行動の徹底を図り、整列および挨拶の励行に努める。 ⑨⑩⑪	A		
	・公正、協力、責任などの意識を身につけさせ、自他の尊重と安全な授業展開に努める。 ⑭	A		
	・校内マラソン大会や体力テストをとおして、成就感や達成感を体験させ、自尊心を培う。 ⑫	A		
	・体育委員をリーダーとして準備運動を実践し、自発的に授業に取り組む態度を身につけさせる。 ④	A		
	・心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できるような意欲を育てる。 ④	B		
・心身の健康や安全について、基礎的な事項を理解させ、適切な意思決定や行動選択の基盤を身につけさせる。 ⑭	B			
・担任との情報交換を密にし、成績不振者に対し、成績向上のための指導を行う。 ③	A			

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題		
生徒指導	いじめの早期発見ならびに早急な解決に努める。	・生徒との面談やアンケートにより、いじめを早期に発見する。 ・いじめ防止対策会議を開き、被害者の安全確保を最優先して早急な解決に努める。	(9)(11) A (12)(15) A	オンライン授業など、例年とは違った状況下で生徒の変化を的確に把握することが難しいタイミングがあった。面接やアンケートは計画通り実施できたが、実施時期等詳細については検討の余地がある。 来年度は新たな校則で指導していく予定なので、そのルールの下で公共マナーの育成を生徒主体でどのように進めていくのか、が課題となっている。		
	基本的な生活習慣の確立と、心の教育を充実させる。	・規範意識の確立や公共マナーの育成、服装の適正化を目指す。 ・遅刻を繰り返す生徒については、保護者を呼ぶなどの段階的指導を通して、その減少を図る。	(9)(11)(12) B (15) B			
	家庭と地域社会、関係機関との連携を深めながら、事故及び非行等の未然防止に努める。	・家庭との連絡を密にし、かすかな情報やサインを見逃さないよう努める。 ・相手の気持ちを思いやるなど好ましい人間関係づくりの育成に努める。	(15) B (9)(12) B			
	豊かな人間性と社会性の涵養及び公共マナーの向上に努める。	・挨拶、言葉遣い、制服の着こなし等マナー向上をはかる。 ・登校指導や通学路指導を実施して、公共マナーが向上するように努める。	(9)(12) B (9)(12) A			
	悩みを持つ生徒への指導の充実を図る。	・スクールカウンセラー等を利用し、相談できる環境の整備に努める。	(12)(14) A			
	生命の尊重と安全教育の充実を努める。	・被害調査等の実施を通して、問題行動の未然防止に努める。 ・貴重品管理を徹底し、盗難防止に努める。	(9) A (9) B			
	進路指導	キャリア教育の活動全体を通して、望ましい勤労観・職業観の育成を図り、主体的に進路選択ができる意欲・能力の育成に努める。	・年間計画を作成し、公表する。 ・進路懇談会、職業講話、就職進路体験発表会等を実施する。 ・進路相談や個別面談を継続的に実施する。		(8) A (8) A (12) B	進学・就職ともに、生徒たちへの情報提供に努める。 ・進路指導部及び業者主催の進路ガイダンスを複数回行い、進路実現に向けて生徒たちの意識の高揚に努める。 ・生徒・担任・保護者などに対して、進路相談のしやすい体制作りを努める。
		学校全体のキャリア教育の充実を図るために、各学年における計画的な進路学習の支援推進に努める。	・進路ノートや進路資料を活用したHRを実施する。 ・自己理解のために、基礎力測定診断や適性検査を実施する。		(8) A (12) A	
生徒の進路拡大を図るために、関係機関と連携し、職場開拓や進路情報の収集・提供に努める。		・求人票や受験報告書などをHRで活用する。 ・進路の手引きを作成し、進路情報を提供する。 ・大学、短期大学、専門学校や企業と連携を密にし、情報収集を行い、生徒ならびに保護者に提供する。	(8) A (12) A (12) A			
保健厚生		規則正しい生活を送ることができるように、心身に健康の充実に努める。	・各種健康診断等を適切に実施し、事後措置と保健指導を行う。 ・保健室頻回利用者について、担任や学年と連携して指導にあたる。	(14) A (14) A	引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組み、学校内での感染リスクを下げられるよう努める。 ・各種の講話等、状況によりオンラインで対応できるよう検討する。	
		生徒が学習するための環境を整備する。	・平素の清掃の徹底と、年二回のワックス塗布及び年数回の大掃除を実施する。 ・震災などの緊急時の対応を見直し、防災避難訓練を実施し、防災に対する正しい知識を身につける。 ・エアコン使用に際して、適切な計画を立て指導する。	(9)(10) A (14) A (14) B		
図書館		資料センターとしての資料の充実を図る。	・図書等の資料の希望調査をおこない、図書部会で幅広い分野から選定する。 ・推薦図書を選定をし、生徒や教職員への広報に努める。	(12) A (12) A	古い本を廃棄し、新しい本を購入するなどして書籍の充実をはかる。またレイアウトなどを工夫して利用しやすい図書館を目指す。	
	読書指導に努め、生徒の読書意欲を喚起する。	・「図書館報」「あすなろ」などを通じて図書館の広報活動を行う。 ・読書感想文集の作成をおとし、読書指導を充実させる。	(12) A (4) A			
	授業やHRと連携し、学習センターとしての機能を向上させる。	・授業における調べ学習に積極的に協力する。 ・HRで全校読書会を実施し、発達段階に応じた生徒の読書体験を増やす。	(6) B (6)(12) B			
	図書館利用の活性化を図る。	・新入生への図書館オリエンテーションを実施する。 ・図書委員会の継続的な活動を支援する。	(4)(10) A (10)(12) A			
渉外	PTA活動に対する会員の意識向上を図る。	・生徒指導、成人教育、広報の各委員会活動を積極的に行う。	(15) B	活動が制限される中での役員、行事運営方法の引き継ぎ ・行事等の精選を考える時期に来ているのではと考える。		
	広報活動を活発化し、各種PTA行事への保護者の参加率を高める。また今年度はPTA活動予定が変更される可能性が高いため、保護者との連絡を密に行う。	・保護者に本校HPを利用して、PTA行事や計画等の情報を提供する。 ・各種PTA行事を休日に実施し、参加者の便宜を図る。	(15) A (15) B			
	地域社会との連携を密にする。	・吼洋祭を積極的に支援するとともに、同窓会活動などの運営円滑化に努める。	(15) B			
一学年	高校生らしい基本的な生活習慣を身につける。	・欠席、遅刻、早退が少なくなるよう指導し、自己管理や時間厳守を徹底させる。 ・身だしなみを整え、やるべきことはきちんと迅速に行えるようにする。	(11) A (9) A	特別な支援が必要な生徒について、組織での対応、具体策が必要であるものとする。		
	ビジネスの基礎を学び、資格取得を目指す。	・学習の習慣化に力を入れる。きちんと授業を受けさせ、宿題や課題などをしっかりと提出させる。各種教材を活用し、基礎ならびに基本を固めるとともに、発展的な内容も学習する。 ・より多くの商業資格の取得を目指す。	(4) B (4) A			
	部活動や学校行事に真摯に取り組み、心身を鍛える。	・委員会活動や学校行事に積極的に参加させ、人間性の育成に努める。また、部活動をおとしてコミュニケーション能力を養う。 ・生徒の観察や面談により、生徒の理解と集団の中で円滑な人間関係ができるように指導する。また、言葉遣いや挨拶の励行などによりマナーアップを図る。	(12) A (10) A			
	二学年	高校生らしい基本的な生活習慣を身につける。	・身だしなみを整えさせ、礼節および言葉遣いの大切さを認識させる。 ・自立心を養い、基本的な生活習慣(自己管理、時間厳守、欠席などをなくす)を確立させる。		(9) B (11) B	進路実現に向けて、進路指導部との連絡を密にする。 ・欠席の多い生徒がいる。体調管理も含め学校へ登校できるような指導を個別に行う必要あり。
基礎学力の向上、さらには上級資格取得を目指す。		・生徒が自ら学習できるように、基礎学力の確立ならびに学習の習慣化に努める。 ・各種検定試験において上級資格を取得し、進路実現につなげる。	(3)(4) A (6) A			
部活動や学校行事に真摯に取り組み、心身を鍛える。		・部活動、学校行事などで主体性を持たせることで、コミュニケーション能力や協調性などを涵養する。 ・主体性を持って進路行事に参加させ、将来への意識を向上させ、職業意識を強く持つ。	(12) A (8) A			
三学年	基本的な生活習慣を確立させる。	・高校生としての基本的な生活習慣(欠席・遅刻・早退、挨拶を含めた)や規範意識の確立に努める。自己管理能力を育成させる。 ・面談等を密におこない、生徒の変化に適切に対応することで、問題行動の未然防止に努める。 ・あらゆる場面を通して現在の社会状況を認識させる。	(9)(11) A (9) A (9) A	進路情報を遺漏なく生徒へ伝達し、進路指導部との連絡を密にする。		
	進路に合わせた学習や資格取得を計画させる。	・学習の習慣化に力を入れる。きちんと授業を受けさせ、宿題や課題などをしっかりと提出させる。一般常識や学習の基礎および基本を固めるとともに、発展的な内容も学習させる。 ・全商一級の三種目以上合格や日商簿記二級合格、ITパスポート合格など進路達成に合わせた資格の取得を目指す。	(4)(7) B (7)(8) A			
	進路目標の達成に向けて学校生活に取り組む。	・授業をおして生徒の観察や生徒の相談に応じ、実態を把握することで多面的な生徒の理解に努める。また、社会人としての適切な言動ならびに振る舞いができるように指導する。	(8) A			
		・進路目標を早めに設定することを促し、達成するための準備や方法を考えさせる。	(8) A			
		・コミュニケーション能力を育成する。 ・進路情報を遺漏なく生徒に伝達するよう、進路指導部との連絡を密にする。進路達成のための適切な指導を行い実行させる。	(8)(10) A (8) A			

※評価基準 A:十分達成できている B:達成できている C:概ね達成できている D:不十分である E:できていない